

## てらだいせき 寺田遺跡

所在地：多気郡玉城町佐田

遺跡への経路：この遺跡は玉城町立田丸小学校北側の水田にあります。

位置情報URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/?z=256&ll=34.49459953703703,136.6315790960452>

調査期間：平成22年1月6日（水）～平成22年1月15日（金）

調査面積：130㎡

主な遺構：小穴、柱穴、溝、落ち込み

主な遺物：<sup>はじき</sup>土師器（素焼きの土器）、陶器

コメント：寺田遺跡は、これまでの調査で、鎌倉時代・室町時代頃を中心とした遺跡であることがわかっていました。今回の発掘調査では、平安時代末から鎌倉時代にかけての柱穴や溝を確認し、土師器などの遺物が出土しました。柱穴は一列に並んでいる場所（下の遺構写真参照）もありました。調査区の幅が狭く、全体を確認することができませんでしたが、建物の一部の可能性があります。



問い合わせ先

515-0325 三重県多気郡明和町竹川503番地 調査研究I課／担当者：西村美幸・岩脇成人

電話番号：0596-52-1732／ファックス：0596-52-7035/e-mail：maibun@pref.mie.jp